

1 日時： 平成26年3月25日 (木) 午後4時00分～午後5時30分

2 場所： 大阪府立清水谷高等学校 校長室

3 協議会委員：

委嘱委員

(敬称略)

近畿大学 教職教育部 教授	田中 保和
東大阪市立楠根中学校長	槇 光則
平成25年度 清友会幹事	伊藤 恵美子
平成25年度 大阪府立清水谷高等学校 PTA 会長	林 宏匡

校内出席者

校長、教頭、事務長、首席2名

※記録：首席

4 協議：

① 学校長挨拶

② 協議

ア) 平成25年度学校教育自己診断 集計結果について

- ◆ 生徒の回答については、「清水谷高校へ進学してよかった」に対して肯定的な回答が89.8%と過去最高となるなど、国際交流についての項目を除き、肯定的な回答が上昇した。
- ◆ 保護者の回答も、「清水谷高校に子供を進学させてよかった」に対して肯定的な回答が96.2%で過去最高である様に、全項目について肯定的回答は上昇した。
- ◆ 教職員の回答については、教職員間の信頼関係や有機的連携などに関する項目で肯定的な回答が上昇し、平成21年度に比べ倍増に近い項目もある。

[委員からの意見]

- 期生について年次変化を見ても、新しいものが見えてくるのではないかな。
- 高い肯定率を、維持するための今後の活動が重要である。
- 多様な生徒について、どこかしら「居場所」を提供できていることが、高い肯定率をもたらしているであろう。

清水谷には、昔から「居場所」があった。このことは、維持して欲しい。

イ) 平成25年度学校経営計画及び学校評価(案)について

- ◆ 生徒の学校評価において「授業のわかりやすさ」に関する項目の肯定率が10ポイント近く上昇した。
- ◆ センター試験受験者は、減少した。一方、5教科受験者の率は上昇した。
- ◆ 仕事量軽減を見すえた校内組織の見直しについては、他の課題解決に時間を割いたために、あまり進まなかった。

〔委員からの意見〕

- 生徒の授業に対する肯定率の高さを、維持していくことは容易ではないが、継続することを望む。
- 進路相談などを通じて、教員が身近な大人としての相談相手という役割を果たしている。

ウ) 平成 26 年度学校経営計画および学校評価（案）について

- ◆ 学校長からの説明。委員からはよいものは残し、前進する旨助言を頂いた。

エ) 「授業アンケート」について

- ◆ 学校長より説明後、意見交換。

③ その他

ア) 「安全で安心な学校生活を送るための」アンケートについて

- ◆ 現在、申し出はない旨、報告された。

イ) 「学校いじめ防止基本方針」について

- ◆ 学校長より説明。

④ 学校長より謝辞、次年度についての連絡など

以 上